

復興道路等に関わる埋蔵文化財の 現地踏査調査の実施状況

■ 概要

東日本大震災からの早期復興「リーディングプロジェクトとなる 三陸沿岸道路・東北横断自動車道は、第三次補正予算において全線事業化が決定され、事業のスタートダッシュとして一日も早い完成に向けて動き出しております。現在、関係者に対する早期の計画説明実施に向け、「測量」、「地盤調査」、「道路設計」及び「関係機関協議」を実施しております。これにより道路の中心線を決定し、早期の工事着手のため埋蔵文化財調査の実施が必要なため、中心杭設置後、速やかに分布調査を実施します。

今回は、事業促進のため、計画路線に関わる埋蔵文化財の調査必要箇所を特定するため、岩手県教育委員会の協力により、遺跡の有無を確認するための現地の踏査を行いました。踏査結果を基に、実施可能な箇所から試掘調査を行い復興道路の早期発見を目指します。

■ 埋蔵文化財の現地踏査調査 開催状況

開催日時：平成24年2月9日～3月下旬

開催場所：陸前高田市、大船渡市、釜石市、山田町、宮古市、岩泉町内



▲分布踏査実施状況

